

デジタルイノベーションの推進

2018年度に設置した「中国地域デジタルイノベーション推進基盤」（中国経済連合会、産業技術総合研究所中国センターとの検討合議体）により、ネットワーク形成や企業・地域の共通課題解決に向けて、関係機関による懇談会開催やITツール導入を推進しました。

a. 令和元年度「中国地域におけるデジタル技術活用促進にかかわる懇談会」の開催

10月10日、広島市にて30機関67名出席のもと、上記懇談会を開催しました。（主催：同上推進基盤）

懇談会では、第一部において、地域内外の4機関からデジタル技術活用に関する先進的な取り組みを紹介、第二部では4グループに分かれて以下の個別テーマに基づき議論しました。

- (a)サイバーセキュリティ人材育成
- (b)データサイエンティスト育成
- (c)企業等の課題解決に向けたAI・IoTツールの活用促進（当センター担当）
- (d)オープンイノベーションによる新事業創出の促進



中国地域におけるデジタル技術活用促進にかかわる懇談会

上記(c)の議論では、参加機関から「AI・IoTツール導入の目的を明確にするために、まず企業の経営者におけるAI・IoT導入効果への理解を深めてもらうことが重要である。」「一方で、そもそも中小企業の中には業務の課題整理もままならず、現場改善にも苦労している。」などの意見をいただきました。今後は、具体的なテーマ（課題）による情報・意見交換を行うこととしました。

b. MZプラットフォーム※1導入・普及啓発に向けたセミナーの開催

12月4日、広島市にて7社の企業参加のもと、上記セミナーを開催しました。

セミナーでは、MZプラットフォームの紹介や操作演習を行いました。また、同ツールの導入事例として聖徳ゼロテック株式会社（佐賀県）様から講演いただきました。

※1：産業技術総合研究所が開発した中小製造業のIT化を支援するツール



MZプラットフォーム導入普及啓発に向けたセミナー

[MZ Platformの特徴]

- ・プログラム作成不要
- ・約200種類のコンポーネントを組み合わせることでアプリケーションを作成
- ・会員登録制で無料

